

第16回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

・リニア工事による影響調査の情報や住民意見などを共有し、リニア工事全般に関わる事項について連絡調整を行うことを目的に、JR東海、施工業者、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」が6月24日に交流センターに於いて、関係者66名が出席し開催されました。また、飯田市、喬木村より担当職員が出席し、大鹿村のリニア工事で生じる発生土の運搬時期の変更、活用について説明がありました。また今年度最初の協議会となり、協議会の正副会長の選出が行われました。以下に概要をお知らせします。

■第16回 リニア連絡協議会 (令和2年6月24日 午後7時00分～8時55分 開催)

○第4期正副会長を選出 (会長) 北澤 健 (副会長) 山本 正栄

○委員の構成

(大鹿村関係委員) 大鹿村議会、農業委員会、教育委員会、商工会、観光協会、建設業協会、飯伊砂利組合、下伊那漁業組合大鹿支部、村内27自治会長、大鹿村
(長野県関係委員) 飯田建設事務所、リニア整備推進事務所、南信州地域振興局 各担当者
(リニア事業関係委員) JR東海、施工業者 各担当者

① (主)松川インター大鹿線改良工事について (長野県より)

●河川内道路の利用計画 (河川内道路の延長 3.3 km)

・利用時間帯について、7月1日から7:00～19:00まで2時間延長する説明がありました。

※夜間 (上記時間外) 及び日曜・祝日は現道の通行とします。

② 南アルプストンネル工事について

【小渋川非常口】

- ・先進坑の延長約1600mのうち、約3割の掘削が完了しました。
- ・先進坑において、蛇紋岩が確認されたため、対策 (坑内での散水による飛散防止、坑内に設置する集塵機により飛散粉じんを回収、非常口ヤード周辺において大気中の石綿粉じん濃度を測定) を講じたうえで、掘削を行っています。

【除山・釜沢非常口】

- ・除山非常口は、斜坑延長の約7割の掘削が完了しています。
- ・釜沢非常口は、斜坑延長の約2割の掘削が完了しています。
- ・発生土置き場A (除山横) の東側への拡幅計画を進めており、拡幅部の調査を行い、関係する行政手続きが完了次第、工事に着手します。

■迂回路の工事状況

- ・小渋川左岸の造成工事は、仕上げ工事等を行っており、7月中旬頃まで工事を行います。
- ・迂回路の供用開始について、7月27日 (月) を予定しています。
- ・供用開始までは現行ルートを工事用車両が通行いたします。



釜沢非常口 施工状況



迂回路 造成状況

③ 伊那山地トンネル（青木川工区）工事について

【青木川非常口】

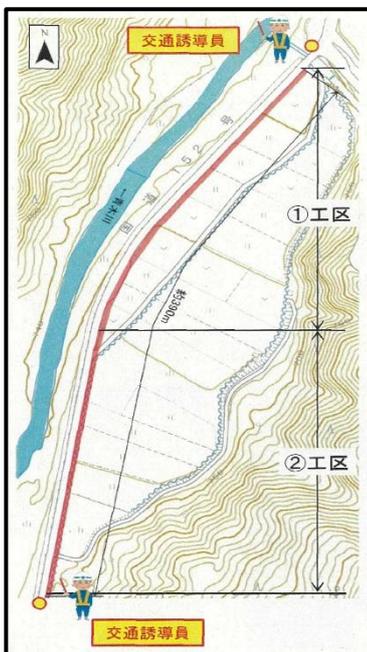
- ・現在、土砂ピット部の防音ハウスといったトンネル仮設備の設置作業を行っています。
- ・トンネル仮設備の設置が完了し、準備が整い次第トンネルの掘削作業を開始します。
- ・トンネル掘削を開始した当初は、昼間作業での機械掘削を基本とします。
- ・坑口部に防音扉を設置した後は、発破掘削を昼間作業で開始し、進捗の状況に応じて、夜間作業も開始させていただきます。
- ・発生土は当面の間、深ヶ沢地籍の発生土置き場（青木川）へ運搬します。



青木川非常口ヤード

■国道152号改良工事状況

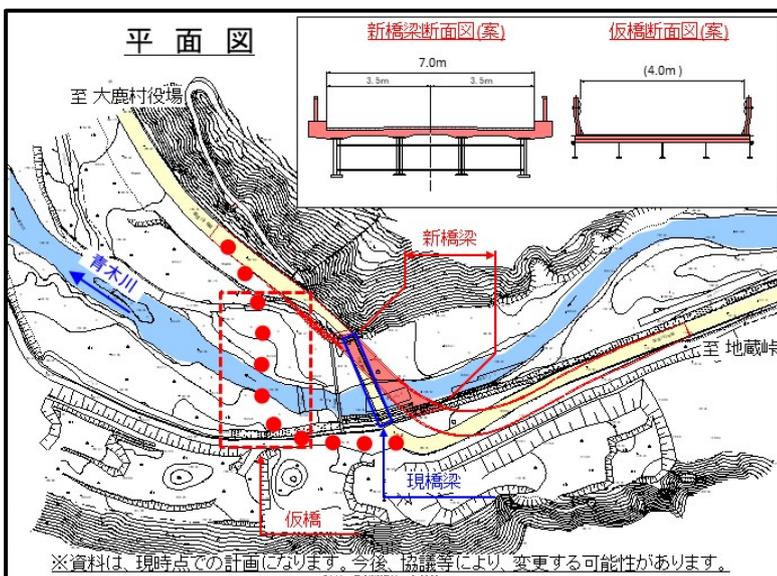
・区間4（上古川）



- ・工事期間：令和2年6月～令和3年3月
 - ・工事は6月19日より下流側の①工区に着手しました。
 - ・②工区は9頃から着手する予定です。
 - ・工事中は片側交互通行とさせていただくため、両側に交通誘導員を配置します。
- ※夜間、休工日は規制なし



・区間8（下樽渡）



- ・長野県とJR東海で費用負担をし、長野県が架替工事を実施します。
- ・架替位置は現橋梁位置で行います。
- ・架替工事期間中の迂回路として、現橋梁の下流側へ仮橋を設けます。
- ・現在、橋梁設計を実施しています。
- ・今年度中に仮橋設置を予定しています。

■発生土置き場（青木川）への運搬について



- ・発生土置き場（青木川）までの運行ルートは国道152号を使用します。
- ・工事用車両の運行に際しては、安全対策を実施します。
- ・すれ違い箇所の少ない針ノ木橋の前後の区間は交通誘導員による規制を行います。
- ・規制区間について地蔵峠冬季通行止め期間中、信号機での規制に変更することを検討しています。
- ・桃の平橋から発生土置き場（青木川）の区間は、待避所を設け、誘導員を配置します。
- ・一般車両が通行する際は、誘導員が大型車両に指示し、大型車両が待避所で待機することで、一般車両が優先できるようにします。
- ・また、規制区間内にある住居出入口前にも交通誘導員を配置します。

■小渋線（渡場交差点）工事用車両通行台数について（台/日）

6月15日現在

	J R 工事に伴う車両	飯田市事業への運搬に伴う車両
R2. 3 実績	20.6	
R2. 4 実績	26.3	
R2. 5 実績	29.2	60.0 (5/11~)
R2. 6 実績	28.7	110.3
R2. 7~9 予定	50.0	200.0

※工事用車両台数は、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

■大鹿村内工事用車両台数（台/日）

6月15日現在

		①大鹿村役場前	②下青木薬師堂前	③沢戸橋	④福德寺	⑤深ヶ沢
J R 工事に伴う車両	R2. 3 実績	25.3	23.8	27.7	20.1	
	R2. 4 実績	26.3	22.8	43.9	16.7	
	R2. 5 実績	29.2	29.0	87.9	14.5	
	R2. 6 実績	28.7	18.2	101.8	10.8	
	R2. 7~9 予定	50.0	68.0	30.0	26.0	88.8
飯田市事業への運搬に伴う車両	R2. 4 実績					
	R2. 5 実績	60.0 (5/11~)		60.0 (5/11~)		
	R2. 6 実績	110.3		110.3		
	R2. 7~9 予定	200.0		200.0		

※工事用車両台数は、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

④ 公共事業活用について

■飯田市代替地整備に伴うトンネル発生土の活用について

- ・運搬時期について、令和2年5月～令和3年1月（月曜日～土曜日及び祝日）へ延長する説明がありました。
- ・延長理由として、河川内道路供用開始後の5月から運搬を開始したことにより、当初予定より2ヶ月半遅れで運搬開始となったこと、土砂の比重が重く、トラック1台当たりの積載量が減となり運搬台数が増加となったこと、通勤通学時間帯に配慮した運搬を行っていることが要因となっております。

■喬木村伊久間工業団地造成事業について

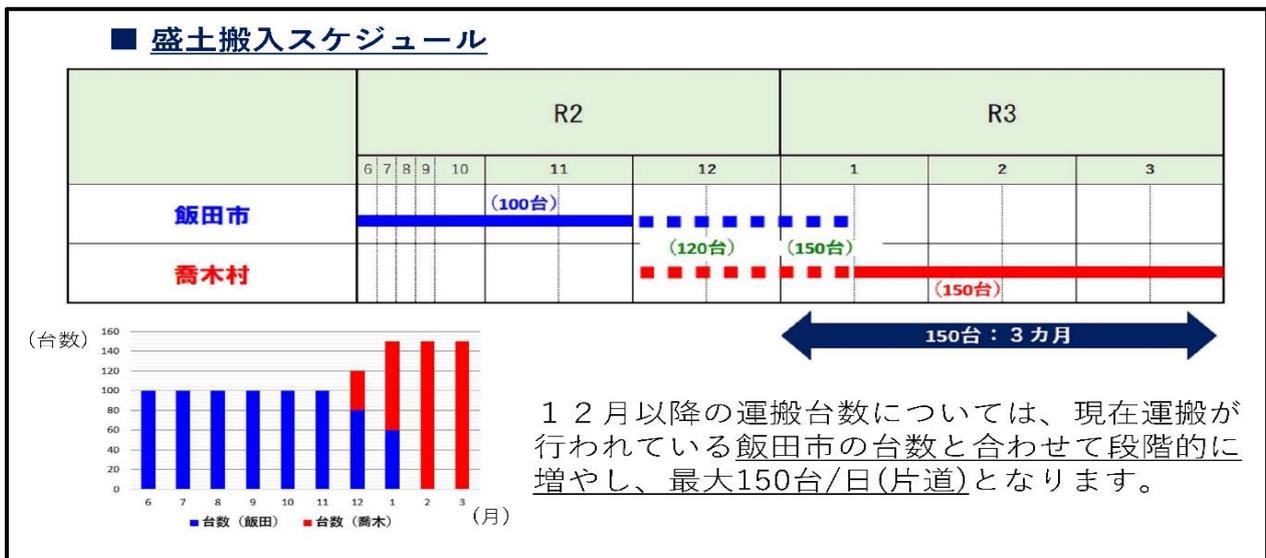
- ・リニア本線ルート上に立地する企業2社があり、30年以上喬木村で操業されております。引き続き村内で操業を行っていただくため、行政手続き・造成工事について村で行う計画です。
- ・造成地の多くが水田で、天竜川に面している軟弱地盤なため、工場を建設するには強度の良い土または、砂利等に土の入れ替えが必要となることから、大鹿村の総合グラウンドや飯田市の代替地整備事業にも利用されている大鹿村の発生土を利用させていただきたいと説明がありました。

○運搬時期：令和2年12月～令和3年3月（月曜日～土曜日及び祝日）

○運搬時間：8時～17時

○運搬土量：約35,000m³

○運搬台数：最大150台/日（片道）



■中部電力による送電線工事について

- ・中部電力より工事の進捗状況について説明がありました。上蔵地区（No29鉄塔）について3月12日に発生した松川インター大鹿線の土砂崩落のため、5月から予定していた特殊車両を使用する工程を見直ししました。これに伴い北の原地区（No28鉄塔）の着手時期も変更しました。
- ・ヘリ運航は、2021年度～を予定しています。なお、デモ飛行は2020年8月～12月頃に計画しますので、関係地区の皆様へ周知する予定です。

■鳶ヶ巣沢環境対策事業

- ・令和2年3月開催のリニア連絡協議会にてお知らせしました鳶ヶ巣沢環境対策事業の設計照査結果の公表について、6月25日（木）に村HPへ掲載を行いました。

○次回（第17回）開催日程等について

- ・次回開催時期を令和2年9月29日（火）とし閉会しました